



## 楽陽荘のお年寄りにプレゼントを渡しました。

本校では社会貢献活動として、これまで楽陽荘のお年寄りの皆さんと交流を行ってききましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、交流は取りやめ、プレゼントを渡すことにしました。プレゼントとして、アルミ缶回収で得た収益で購入した「消毒用アルコール」、各学年で趣向をこらした「手作りプレゼント」、合唱部からは「合唱を収めたDVD」を準備しました。そして、2月3日(水)に、児童を代表して児童会とボランティア委員会、合唱部の代表者が楽陽荘の玄関でプレゼントの贈呈を行い、楽陽荘の所長さんから、あたたかいお礼の言葉をいただきました。



消毒用アルコール



各学年の手作りプレゼント



合唱部のDVD

早くコロナ禍が終息(しゅうそく)して、元のようにお年寄り子どもたちが心の底から笑顔で交流できる機会をもつことができればいいなと強く思いました。



## いのちのせんせい (2年生)

香川県教育委員会は、子どもたちに命の大切さを学んでもらうため、消防士や救急救命士、助産師として働く方々を「いのちのせんせい」に任命し、小中学校に派遣しています。1月28日(木)5校時、助産師さんがやってきて2年生に対して、赤ちゃんが生まれるときのことなどをお話してくださいました。祝福されて生まれてきたこと、命はたった一つだから大切にしなければならないことを学んだ2年生。心の温かい人に成長してほしいですね。



## 福祉体験 (5年生)

2年生が「いのちのせんせい」からお話を聞いていた同じ時間帯、1月28日(木)5、6校時に、観音寺市社会福祉協議会の方や、柞田・木之郷地区の民生委員・児童委員の方をお招きし、5年生が福祉体験を行いました。お年寄りや障害がある方の気持ちやそのサポートのしかたが体験を通して理解できたのではないのでしょうか。



## 絵本「柞田飛行場」の寄贈

戦後75年、戦争時代を語る方が少なくなってきたなか、その時代のことを伝えていくために、「愛と心を語り継ぐ会」が、観音寺市の支援を受け「柞田飛行場」というタイトルの絵本を作成しました。

1月29日(金)、代表の田中敬子さんと、お話の作者である、すぎもとれいこさんが本校を訪れ、この絵本を10冊寄贈いただきました。



この絵本は、終戦が近いことなど誰も予想しなかった1943(昭和18)年、我が国が戦争に勝つためという名目で、突如、柞田を中心とした地域に建設されることになった飛行場にまつわるお話です。土地や家の立ち退きを余儀(よぎ)なくされた家族や人々の苦悩が描かれています。この絵本を通して、児童には平和の尊さを学んでほしいと思います。

